

報道関係者各位

2006年10月11日  
株式会社エヌシーアール社会保険サービス

## 処方医薬品におけるジェネリック医薬品利用促進を実現する「医薬品情報検索システム」提供開始

健康保険組合向け業務サポートを提供する株式会社エヌシーアール社会保険サービス(本社:東京都港区)は、このたび医療費における薬剤費の患者負担(3割)と健康保険組合等の保険者負担(7割)を軽減する目的で、新製品「医薬品情報検索システム」を2006年10月より、東京電力健康保険組合向けに提供を開始しました。本製品はアイティーコーディネート株式会社(本社:東京都港区)が開発した薬価後発品チェッカー「Dicapplet」(ディカプレット:2006年4月発売)をベースに開発し、株式会社エヌシーアール社会保険サービスから提供されます。

製品名	「医薬品情報検索システム」
販売開始	2006年10月
販売・開発	株式会社エヌシーアール社会保険サービス
開発	アイティーコーディネート株式会社

### <「医薬品情報検索システム」の概要>

～処方医薬品からジェネリック医薬品を検索し、患者負担の軽減額を計算するシステム～

「医薬品情報検索システム」は、新薬からジェネリック医薬品に変更した場合の薬価差を計算し、受診者の窓口負担額の情報提供をサポートするシステムです。マスメディアの影響によりジェネリック医薬品の認知度も徐々に高まり、特に新薬との価格差にメリットがあると認識されつつありますが、実際に後発医薬品に代替した患者数は、少ない現実があります。これは、「病院・診療所がジェネリック医薬品を採用していない」、「ジェネリックメーカーやその品質や効果に不安をもつ医師が処方しない」、「複数の同効ジェネリック医薬品の在庫による調剤薬局のコスト負担」等によるものと考えられているためです。ただ、少子高齢化が進む中、健康保険組合にとっては、医療費の7割負担を行なう立場から、組合員の負担軽減がそのまま健康保険組合の運営改善に直結します。毎月の差額が小額であっても、慢性疾患患者の年間費用負担を考慮すると、かなりの金額となり、安価なジェネリック医薬品の普及は、健康保険組合の運営を改善することになります。この「医薬品情報検索システム」は、国策である「医療コストの抑制・医療の質の向上」という矛盾する目標に向け、ジェネリック医薬品利用推進を目標とする健康保険組合から、医療費適正化(患者負担の適正化)に有用であると評価を受けています。

\*Dicapplet はアイティーコーディネート(株)の登録商標であり、特許出願中です。

本件についてのお問い合わせ先：  
株式会社エヌシーアール社会保険サービス 担当:山本  
〒105-0021 東京都港区東新橋2-8-1 パラッツォアステック 6F  
電話:03-5776-0161 FAX:03-5776-0851  
E-mail:yamamoto@ncrsinc.com